



# 2021 RACE REPORT

GAZOO Racing 86/BRZ Race 第3戦

2021年6月13日(日)

オートポリス(大分県日田市)

プロフェッショナルシリーズ

## 川合選手 9 位、吉田選手 10 位。今季2回目のダブル入賞を達成

GAZOO Racing 86/BRZ Race の第3戦がオートポリスで行われました。予選と決勝を日曜日に行う1DAYレース。プロフェッショナルシリーズのエントリー台数は26台です。日曜日朝の天候は曇り。決勝時に雨が降るという予報もあり、予測が難しい状況。プロフェッショナルシリーズの予選は10時40分から20分間で行われ、川合選手は4分過ぎにコースイン。タイヤをあたため、翌周にアタックを行います。川合選手のタイムは2分12秒221で、この時点で7位につけています。吉田選手はコースとライバルの状況を見極め、残り約8分でコースイン。翌周に2分12秒344をマークし11位。正式結果は川合選手が12位、吉田選手は13位となりました。上位の選手のほとんどが他社製のタイヤを装着しており、下馬評通りの結果に。しかし、雨が降れば形勢が一気に変わる可能性もあり、店舗メカニックが空模様を気にしながら、決勝の準備を進めます。



決勝(10周)は15時30分から。各車グリッドに整列した頃、雨がポツポツと降り出します。先の展開が読めない中、全車クリーンスタートでレース開始。川合選手と吉田選手はスタート直後に順位を上げ、9位と11位でオープニングラップを終えます。川合選手は2周目に#31青木選手を豪快にパス。8位に上がりますが、雨が強まる気配はなく、チームにとって追い風になるほどではありません。川合選手は#31青木選手を引き離すことができず、レースは後半へ。7周目に#31青木選手に抜き返され、そのままチェッカー。一方、吉田選手は3周目に佐々木選手を抜いて10位を走行。11位の#293岡本選手から厳しいプレッシャーを受けます。しかし、吉田選手はベテランらしい落ち着いた走りを見せ、10位でチェッカー。開幕戦に続くダブル入賞を達成しました。今回の結果により、両選手の獲得ポイントは同点(17ポイント)となり、ランキングは6位タイに。次戦以降は2ヒートレースが続くため、大量得点によるランキング逆転は十分可能です。次戦は7月24日~25日、スポーツランドSUGOで行われます。



#160  
埼玉トヨペット GB 86 BS  
**吉田 広樹**  
**決勝：10位**  
予選13位(2分12秒344)

■予選後：昨日のイメージでアタックしたのですが、路面温度が高く、タイヤのグリップが感じられませんでした。自分でもタイムが出たという感触はなくて、大きなミスはしていないので、コンディションに対して合わせきれなかったと思っています。ポイントを狙える場所にいるので、そこを目指して走ればと思っています。

■決勝後：大変なレースでした。スタートから2つぐらい順位を上げて、2、3周したところで1台抜いて。その後は後続をおさえるのに一生懸命でした。ただ、後ろの選手がフェアなレースをしてくれたので、要所要所をおさえて順位を守れた感じです。ポイントを獲得することを目標にしていたので、とりあえずは良かったのですが、レース展開や速さを考えると、他メーカーに対してどうにかしていかないと厳しいという気もしています。



#521  
埼玉トヨペット GB 86 BS  
**川合 孝汰**  
**決勝：9位**  
予選12位(2分12秒221)

■予選後：今週末を通してかなりダンロップ勢が速かったので、アタックをまとめてベストを出せればいいなと思っていました。ちょっとしたミスはあったのですが、クリアで走れ、そこそこまとまったアタックができました。結果的には中団の方に沈んでしまったので、思ったより厳しかったです。チャンスを見ながら、しっかりポイントを獲得できるようにしたいと思います。

■決勝後：グリッドにいる時に雨がポツポツきていたので、期待はしたのですが、残念ながら雨が強まることはなく、そのままドライのレースとなりました。オートポリスはオーバーテイクの難しいコースなので、スタートは集中していました。そのかいあってスタートで3台抜き、シングル圏内を走っていたのですが、後半のペースがきつくなり、1台に抜かれてしまいました。

## ■ ■ 文句なしのパーフェクトウィン！ ランキングトップに立つ ■ ■

エキスパートのエントリー台数は15台。地頭所選手は予選が始まってコースに入らず、路面状況が改善されるタイミングを見極めています。8分経過時点でコースイン。タイヤを温め、2周目にアタックを行います。地頭所選手はベストタイムを更新する2分13秒499をマーク。#58丸田選手を0.001秒上回り、初のポールポジション（GB キャンプとしても初）を獲得しました。地頭所選手の快挙に沸くピット。クルマから降りた後、担当のメカニックの大庭、関羽と健闘を称え合います。



決勝時の天候は変わらず曇り。地頭所選手はポールポジションからスタート。2位の#58丸田選手が接近したように見えたが、巧みにディフェンスし、1コーナーへ進入します。地頭所選手は冷静な走りの後続をおさえ、1周目のホームストレートをトップで通過。2位以下は#58丸田選手、#556呉選手の順。#556呉選手は前戦、激しく優勝を争った相手です。レース序盤、地頭所選手と#58丸田選手のペースは同等でしたが、3周目から#58丸田選手が遅れはじめます。そのため、2位以下は混戦となり、リードを築きたい地頭所選手にとって理想的な展開となります。5周目、#556呉選手が#58丸田選手をパス。トップ2は前戦と同じ顔ぶれとなりますが、地頭所選手は3秒ほど先行しており、独走態勢に。地頭所選手は#556呉選手とのギャップをコントロールし、トップチェッカー。自身初のポールのウインを成し遂げ、開幕戦に続く2勝目をあげました。この結果により21ポイントを獲得し、ランキングトップに。今シーズンの行方がますます楽しみになりました。



#522 GB CAMP 86  
**地頭所 光**  
**決勝：1位**  
予選1位  
(2分13秒499)

### 予選後

予選後：自身初のポールポジションが獲得でき、本当にうれしいです。チームのみなさんに感謝しています。昨日、最後の方で雨が降って、それからあまり誰も走行していなかったため、路面ができるまでコースに入るのを待ちました。10分経過したら行こうと思っていたのですが、作戦通りグリップしてくれました。

### 決勝後

開幕戦以来の優勝を達成することができて本当にうれしいです。チームのおかげです。ありがとうございます。オートポリスは抜けないサーキットなので、スタートを決めて所要所を防げば独走できると思っていたのですが、本当にその通りになりました。スタートをある程度決め、1コーナーと2コーナーはブロックラインで通過。そこからは普通に走ることができ、差を広げることができました。

## PARTNERS



株式会社アイ・ディ・アイ



EMG ルブリカンツ合同会社



株式会社エヌ・ティ・コーポレーション



株式会社 FM NACK5



大宮クリーン社・大進カーエアコン



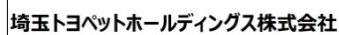
株式会社岡崎巧芸



株式会社カーグラス・JP



埼群スリーボンド株式会社



埼玉トヨペットホールディングス株式会社



株式会社テレビ埼玉



株式会社デンソーソリューション



株式会社ドーム



トヨタモビリティパーツ株式会社



株式会社ハッピーライフ彩生



株式会社ブリヂストン



丸和工業株式会社



株式会社リビコー



レカロ株式会社